



PROGRAM NOTE

2022 年 8 月

世紀の BCL ブーム主役 山田耕嗣さん

世界の国々から飛んでくる電波をキャッチする BCL (Broad Casting Listeners) を「趣味の王様」として日本の若者たちを沸かせた山田耕嗣さんが亡くなられて 14 年になります。その間、四方を海に囲まれた日本に住むヤングたちは「短波受信」を通してチャレンジを受け、それぞれが与えられた将来への夢を実現しようと広い世界に飛び出していきました。1970 年代後半には BCL がブームとなって全国へ広がっていましたが、今月は、その中心的役割を果たされた山田耕嗣さんの生前のエピソードをたどってみることにしましょう。

「アンデスの声」へのレポート一番乗りは僕だ！

南米エクアドルからの日本語放送『アンデスの声』の放送開始は東京オリンピックの年 (1964 年) でした。南米大陸に住む日系移住者に慰めと心の糧を届けようと毎夕 30 分の生放送をはじめたのですが、番組をきかれたリスナーからのお便りもすぐにとどきはじまりました。そのなかにはブラジルをはじめ、中米、北米、カリブ海、そして日本から最初にとどいた受信レポートが東京の山田耕嗣さん (某レコード会社の洋楽部中南米主任) からでした。

「まるで新幹線の時刻表なみだよ！」

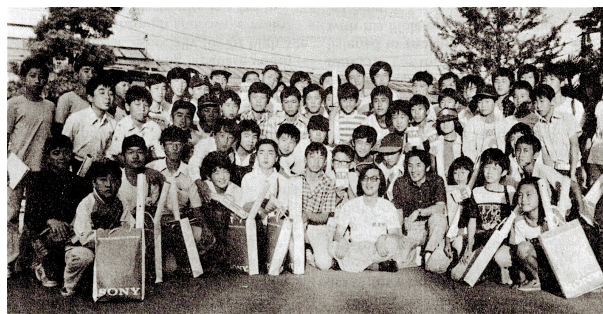
BCL ブームの最中に山田さんは「日本ふれあいの旅」で帰国した私たちにも、全国津々浦々のラジオ店やリスナーの集いなどのスケジュールを組んでくださり、会場は BCL ファンがあふれていて、どこでもサインせめて大変でした。また、折にふれて BCL に関する最新情報を親切に教えてくださいました。後年、千葉に新居を構えられたことをおききし、ぜひたっぷり時間をとって対談をさせていただきとお願いしてあったのですが、残念ながら実現できなかったことが今でも心残りです。

「ダイヤルをまわし続けて指にタコ?!」

1976 年フジ TV 制作の「エクアドルにアンデスの声をみた」というドキュメント番組が放映されたことがあります。そのニュースを知らせるために山田さんは知人友など数え切れないほどの人に電話をかけてくださいました。ところが、あまりにもその数が多すぎて、受話器のダイヤルをまわす本人の指にはタコができてしまったとききました。お礼のことばありません。

「さあ、大変なことが起こりそうですよ」

この情報は全く予想もしなかったことでした。まさか BCL がブームになろうとは・・・そのうち短波受信機が飛ぶように売れ、受信報告書が世界の各局になだれのように押し寄せ、受付を一時停止する局も出てきました。地球の裏側にあるエクアドルの HCJB にも日本からのメールが殺到し、局内の郵便受けが満杯になるので、別にダンボール箱を用意して日本語部の部屋までとどけてもらっていました。返信業務も手が足りなくて、宣教師仲間や近郊に住んでいる日本人家族の方たも手を貸してくださいました。日本語部オフィスの壁にある来信数を示す棒グラフは天井を突き抜けそうな勢いでした。



新潟で開かれた BCL ファン大会での記念写真 1977 年



秋葉原ラジオ会館でのリスナーの集い
(山田耕嗣さんと尾崎夫妻) 1977 年

こうして今日まで放送が続けられているのは、背後で支えてくださり力づけてくださっている方たちに囲まれているからに他なりません。これからも「放送」という使命達成に与えられていることに感謝しています。虹の彼方でこれからも山田さんがエールを送ってくださっていることを身を感じながら私も命ある限り BCL ファンとともにあたえられている使命達成に邁進したいと願っているところです。

サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送

| | |
|-------|---------------------------|
| 8月06日 | クリスチーンのアメリカ大陸発見 (ケンタッキー州) |
| 8月13日 | マリンバの調べ (アルゼンチンタンゴ他) |
| 8月20日 | 特別番組: 故山田耕嗣さんを偲んで |
| 8月27日 | 女ばかり南米大陸をゆく (6) |

バイブル・トーク

淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送

| | |
|-------|----------------------------|
| 8月07日 | 聖書遊覧バス: 出エジプト記 20 章 (十戒) |
| 8月14日 | リスナーからの「お便り交換の時間」 |
| 8月21日 | 聖書遊覧バス: 出エジプト記 21 章 |
| 8月28日 | 聖書遊覧バス: 出エジプト記 25 章 (幕屋建設) |

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.reachbeyond.jp>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3 形式)

放送時間: 日本時間 午前 7 時半~8 時 15410kHz (再放送) 午後 8 時~8 時 30 分 15565kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

* 受信報告書をメールで送る場合: hcjbjapan.office@gmail.com

